

生まれてくる赤ちゃんを、RSウイルスから守るために（ワクチン説明書）



RSウイルス感染症とは

RSウイルスは特に小児や高齢者に重い病気を起こしやすいウイルスで、1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%のお子さんが感染します。感染すると、通常は2～8日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などのカゼ症状が数日続き自然と良くなりますが、特に気管支炎、細気管支炎や肺炎、無呼吸などを来して重症化することがあります。特に新生児から6ヶ月までの乳児が悪化しやすい病気です。最近の報告では、国内のRSウイルス感染症発生数は12万人～18万人で、そのうち3万人～5万人が入院を要したとされています。

以前はRSウイルスの流行は秋冬に多く季節性がありましたが、近年は夏に流行するなど不規則なパターンになっています。接触・飛沫感染により伝播するため、手洗いやマスクの着用といった基本的な感染対策はある程度有効です。しかし有効な治療薬はありません。



接種対象となる方

・接種時点で、妊娠28週0日から36週6日までの妊婦の方

過去の妊娠時に組換えRSウイルスワクチン(母子免疫ワクチン)を接種したことがある方も対象です。

| | |
|------------|---|
| 接種回数(接種方法) | 妊娠ごとに1回(筋肉内に注射) |
| 接種スケジュール | 妊娠28週0日から36週6日までの間に1回接種。 ※接種後14日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから、妊娠38週6日までに出産を予定している場合は医師に相談ください |

母子免疫ワクチンとは

母子免疫ワクチンを妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、赤ちゃんの出生時から病原体に対する予防効果を得ることができます。RSウイルス感染症は新生児期に重症化しやすいため、生まれてからの予防では間に合わないことがあります。したがって母子免疫ワクチンが特に有効な予防法になります。海外ではRSウイルス以外にも百日咳菌に対するワクチン等が母子免疫ワクチンとして使用されています。

RSウイルス感染症に対する母子免疫ワクチンとして組換えRSウイルスワクチン(ファイザー社のアブリスボ®)があります。なお、組換えRSウイルスワクチンのうち、アレックスビー®(GSK社)は母子免疫ワクチンとして用いることはできません。

ワクチンの効果

| | 母子免疫ワクチンの予防効果(減少率) |
|------------------------|--------------------|
| 生後3か月までの重症RSウイルス感染症(※) | 約80% |
| 生後6か月までの重症RSウイルス感染症(※) | 約70% |

※医療機関の受診を必要としたRSウイルス感染症の乳児のうち、呼吸不全、人工呼吸器の装着、4時間以上のICUでの治療、意識障害などを来したものの。

また医療受診を必要とした下気道感染症(発熱、肺炎、気管支炎等)の予防効果は、生後3か月では60%、生後6ヶ月では50%みとめられた。

ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に注射部の痛みや腫れ、頭痛、筋肉痛などが見られることがあります。また、頻度は不明ですが、発疹や蕁麻疹、稀にショック・アナフィラキシーがみられることもあります。これらは従来のワクチンと

同じ一般的な副反応です。

これまでの治験では、母子免疫ワクチン接種を受けた妊婦、胎児(出生時)に、妊娠合併症や早産、新生児下肢といった有害な事象の明らかな増加は認められていません。

| 発現割合 | 主な副反応 |
|-------|---------------------------------|
| 10%以上 | 疼痛*(40.6%)、頭痛(31.0%)、筋肉痛(26.5%) |
| 10%未満 | 紅斑*、腫脹* |
| 頻度不明 | 発疹、蕁麻疹 |

*ワクチンを接種した部位の症状 添付文書より厚生労働省作成

接種に注意が必要な方 (◎以下に該当する方は、接種を行う前に必ず医師に相談をしてください)

*本ワクチン接種によって、妊娠高血圧症候群の発症リスクが上がるという報告が一部にあるため(因果関係は不明)、妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと判断された方や、今までに妊娠高血圧症候群と診断された方は注意が必要です。

*筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

*その他、一般的に予防接種に際して注意が必要な方(慢性心臓病、腎臓病などの基礎疾患を有する方や過去にワクチン接種でアレルギー反応を起こしたことがある方、けいれんを起こしたことがある方、免疫不全と診断されている方など)は医師にご相談ください。

※以下に該当する方は、接種を行うことができません。

明らかな発熱を呈している方、重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方、組換えワクチン(アブリスポ®)の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方等は接種できません。

他のワクチンとの同時接種・接種間隔

医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、海外の知見で、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があり、接種間隔等については医師と相談してください。

接種を受けた後の注意点

ワクチンの接種後30分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。接種当日の入浴は問題ありません。注射した部分は清潔に保つようにしてください。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

接種を受けたご本人及び出生した児が対象となります。制度の利用を申し込む時は、予防接種を受けた時に住民票を登録していた市町村にご相談ください。

定期接種を受ける方法・費用

定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村(特別区を含む)で実施されます。費用は無料です。また、里帰り出産により県外での接種を希望する場合は、事前に安曇野市健康推進課(0263-71-2470)へお問い合わせください。